



アラブ首長国連邦(以下、「UAE」)は7つの首長国で構成されている連邦国家で、各首長国には首長や副首長、皇太子が存在し、連邦政府から法律や統治の権限が委任されています。首都はアブダビに置かれ、煌びやかな摩天楼が立ち並ぶドバイは実は

砂漠の中東の最先端を走る、アラブ首長国連邦・ドバイの魅力

外務省在ドバイ日本国総領事館 副領事

都甲 茉莉



首都ではありません。またUAE人は総人口の10%にすぎず、インド、パキスタン、フィリピン等からの外国人労働者が人口の多くを占めています。何でも世界一、世界初が好きなおバイはモノ・ヒト・カネ・情報のハブ拠点として観光と経済で発展し、イスラム教国家でありながら他宗教にも寛容で、街中でお酒や豚肉料理を提供するお店も多く見られます。夏は非常に暑



下草や小さな池や小川が少しあるだけで自然の緑は少ない

いですが冬は比較的過ごしやすく治安も日本より良いと感じるほどです。UAEには砂漠だけでなく山もありますが基本岩山です。森林に関するトピックとしては、2022年にUAE気候変動・環境省が「2030年までに1億本のマングローブを植林する」ことを発表したほか、ドバイでも市内で植林プロジェクトを掲げ緑化活動をしています。また、食料の約90%を輸入に頼っているUAEですが、食料安全保障の観点から自国生産を進めており、最近では地元農家の支援策等を掲げています。水産業では牡蠣の養殖やサーモン等の陸上養殖も進んで

いますが冬は比較的過ごしやすく治安も日本より良いと感じるほどです。UAEには砂漠だけでなく山もありますが基本岩山です。森林に関するトピックとしては、2022年にUAE気候変動・環境省が「2030年までに1億本のマングローブを植林する」ことを発表したほか、ドバイでも市内で植林プロジェクトを掲げ緑化活動をしています。また、食料の約90%を輸入に頼っているUAEですが、食料安全保障の観点から自国生産を進めており、最近では地元農家の支援策等を掲げています。水産業では牡蠣の養殖やサーモン等の陸上養殖も進んで

おり、最近では、UAE産の野菜類や牛乳・卵等がスーパーに陳列されるなど、砂漠の地での最先端技術を利用した産業の今後の発展に注目です。その他、中東最大の旅行、食品、家電、医療等に係る見本市が毎年開催され多くの賑わいを見せます。規模は小さいですが建材を中心とした展示会



Wood showでの日本企業のブース



総領事公邸での現地企業との会食

Wood Showもあり、日本企業も出展していました。

私が勤務している総領事館は日本人職員が十数名の小規模公館であり、大使館が管轄するアブダビ以外のすべての地域をカバーしています。私は経済担当として、当地に約330社ある日系企業との関係構築や支援、政府、現地企業等との意見交換や情報収集といった業務に従事しています。また、日UAE農・水産業協力等農林水産案件を中心に、最近では日本産品の輸出促進にも力を入れており、当地シェフやバイヤー向けに原木しいたけや日本産青果物の販促活動を総領事公邸で開催しました。また、年に一度開催する天皇誕生日レセプションでも地方公共団体が販路拡大のために果物等の試食や当館より和牛や日本

酒を提供するなど、日本産品PR活動の機会も増えています。

在外公館は任地国で総理外遊や各省庁の政務海外出張があれば、最優先して受入に係る関連業務（現地政府との会談調整、各



日本青果物輸出協議会とのプロモーション



民間企業との原木しいたけのプロモーション



第13回WTO閣僚会議に参加する武村農林水産副大臣



高橋農林水産大臣政務官との記念撮影

関連企業とのアポイント、視察調整等を行います。今まで内閣総理大臣訪問対応2回、農林水産大臣政務官出張対応2回、第



COP28でスピーチする岸田内閣総理大臣

13回WTO閣僚会議で農林水産副大臣対応をしました。特に昨年12月に当地で開催された気候変動枠組条約第28回締約国会合（COP28）では、林野庁を含む各省庁の政府代表団に加え、内閣総理大臣や環境大臣等の受入業務に携わり、非常に多忙な日々を過ごしましたが、日本外交の一端を担うことができ大変やりがいのある仕事でした。このように多岐にわたる業務に従事することで、農林水産分野以外のことも視野の広がりを実感しています。